

JA全農ウィークリー

4
5
面

共同購入トラクター(大型)1800台超える受注に 続く第2弾・中型トラクターはSL33Lに決定

(耕種資材部)

6面

『全農リポート2020』を発行

事業内容や取り組みについて幅広く解説（広報・調査部）



名産化に向け期待がかかる八王子パッションフルーツ(3面)



共同購入の第2弾に決定した中型トラクター・SL33L(4-5面)

2 「野菜の日」キャンペーン 徳島県内JA直売所で野菜レシピ集と 県産飲料配布(徳島県本部)

「とれたて元気市 広島店」が
子ども食堂に食材提供開始(広島県本部)

3 全農直営店舗で八王子パッション フルーツフェア(東京都本部)

宮城県の農業法人で新たな省力化技術の
実証研修会(東北営農資材事業所)

7 JAズームイン(青森:JA相馬村)

8 米消費拡大 子ども向けレシピブックを
ホームページで公開(米穀生産集荷対策部)

「冬恋食べてけろ」JAタウンで
予約注文受付中(岩手県本部)

JAタウンショップ紹介

紀の里‘旬’たより(和歌山県JA紀の里)

**Web
限定**

川瀬良子さんが農産物の収穫を体験
朝日里山学校でラジオ番組
「あぐりずむ」の収録も（広報・調査部）

全農の食の応援団
「虹のコンキスタドル」のYouTube番組
「全農 presents届け!ファンファーム」
第6話放送! (広報・調査部)

響け!大地のエール
「#農家の皆さんありがとう」プロジェクト
習志野高校にお礼訪問(広報・調査部)

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから ▶▶▶▶▶▶▶▶**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

News!



徳島県内JA直売所で野菜レシピ集と県産飲料配布

「野菜の日」キャンペーンを展開

徳島県本部

徳島県本部は8月29～31日、JA徳島中央会や県内団体とともに徳島県内17のJA直売所で、JAグループ徳島「野菜の日」キャンペーンを行いました。

徳島県は平成24年度から、8月31日の「野菜の日」を含む1週間を県独自に「とくしま野菜週間」と定めて集中的な啓発活動を実施しています。県産野菜の消費拡大を図ることを目的として、今年には各JA直売所の協力を得て「野菜の日」PRを行いました。

各JA直売所では、野菜を含めて指定金額以上買い物されたお客さまに、「野菜レシピ集」と「徳島県産飲料（徳島すだちウォーター、ザ・キャロット）」をプレゼントしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、3密を避けて、限られた中での実施となりましたが、JA直売所は朝から買い物客でにぎわいを見せていました。



「野菜の日」をPRするJA東とくしまの「みはらしの丘 あいさい広場」（上）とJA板野郡の「JAグリーンとなりマルシェ」

News!



「とれたて元気市 広島店」が子ども食堂に食材提供開始

地元野菜で子どもたちの食事支援

広島県本部

広島県本部が運営する「とれたて元気市 広島店」は、子どもたちの食事支援などを行う特定非営利活動法人「食べて語ろう会」に食材提供を始めました。

同店の一角に専用コンテナを設置し、生産者から食材提供を募ります。毎週火・木曜日提供された食材を翌朝、「食べて語ろう会」のスタッフが引き取るシステムです。

8月19日には広島県本部園芸部の原泰永部長から、「食べて語ろう会」事務局次

長の岩田洋文さんに初めての受け渡しが行われ、米や白なす、アスパラガスなどを提供しました。

岩田さんは「新鮮な食材を提供してもらい、ありがたい。今後とも家族を支援していく」と話していました。



「とれたて元気市 広島店」で食材の受け渡しを行う、広島県本部園芸部の原部長（右）と「食べて語ろう会」事務局次長の岩田さん



全農直営店舗で八王子パッションフルーツフェア開催

パッションフルーツを八王子の名産に

東京都本部



地元の名産にと期待がかかる
八王子パッションフルーツ

パッションフルーツフェア開催の告知



ＪＡ八王子パッションフルーツ生産組合は、ＪＡ八王子管内の若手生産者で構成され、平成25年2月に設立されました。組合員の1人が東京都の南国、小笠原諸島でパッションフルーツに出合い、「八王子も暑い……。もしかしたら八王子でも栽培できるかもしれない」と思い、一念発起。周り

東京都本部は8月27日から9月9日、「ＪＡ八王子パッションフルーツ生産組合」協力のもと、都内にあるみのりみのある4店舗で、「八王子パッションフルーツ」フェアを開きました。

の同志を募り、そこにＪＡ・ＴＡＣも加わって組合設立に至りました。

フェアでは生産組合のパッションフルーツを使ったスカッシュやタルトなどを提供しました。

現在、生産組合は地元の商工会議所と業務提携協定を締結するなど、さまざまな団体と連携し、加工品の開発やＰＲ活動を通じて「八王子パッションフルーツ」の名産化に向け取り組んでいます。街中で八王子パッションフルーツを使った商品を見つけたら、ぜひ味わってみてください。



パッションフルーツの圃場(ほじょう)



宮城県の農業法人で新たな省力化技術の実証研修会

大規模生産者向け、少水量で大面積除草

東北営農資材事業所

東北営農資材事業所は8月11日、宮城県の農業法人やまもとファームみらい野(株)で、従来よりも大幅に省力化ができる開発中の除草剤散布ノズルについて、東北初となる散布研修会を開きました。

東北各県本部職員向けに、開発中の(仮称)ラウンドノズル® ULEV5セット「ブルーム用」による除草剤の散布実証研修会を開きました。新

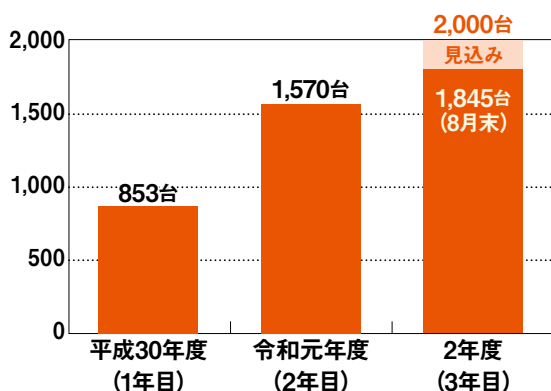


圃場で(仮称)ラウンドノズル® ULEV5セット「ブルーム用」についての説明を受ける各県本部職員

研修会では、通常のノズルと新開発のノズルを用いて実際に散布してもらい、水量や作業の違いを確かめてもらったあと、参加者と生産者との意見交換なども行いました。生産者は「使う水量が減らせる」と、水場が遠くても効率よく作業ができる。市販されたらすぐ購入したい」と評価していました。

クター（大型）1800台超える受注に ・中型トラクターはSL33Lに決定

共同購入台数（累計）



第1弾 大型トラクター 11月末まで注文を受け付け

全農は平成30年度から取り組みを始め、好評をいただいた共同購入トラクター（大型）の発注とりまとめを、今年11月末に終了します。さらに、第2弾として共同購入する中型トラクターを「SL33L（製造元・（株）クボタ）」に決めたことを、9月29日に発表しました。

【耕種資材部】

生産者が必要とする機能を厳選した60馬力クラスの大型トラクターは平成30年10月から供給を始め、今年8月末時点の累計発注台数は39県・1845台と当初の目標台数である3か年で1000台を大幅に上回る実績となっています。

共同購入トラクター（大型）の生産者購入価格は標準的な同クラスの購入価格（450万～520万円）と比べ、25～35%の価格低減効果がありました。JAグループが全国の生産者の需要をとりまとめ、全農が一括購



共同購入トラクター（大型）
YT357JZUQH（ヤンマー）

入することにより、メーカーの製造・流通の効率化を促し、生産者への価格メリットを還元することができました。

最終発注のとりまとめは今年11月末としており、累計2000台を目指して推進を継続中です。

共同購入トラ 続く第2弾



SL33LFMAEP (クボタ)
(安全フレーム・標準速・ホイル仕様)

第2弾 中型トラクター決定 33馬力、総排気量は1・8ℓに

今年12月から供給スタート

全農は、平成30年から実施している大型トラクター(60馬力クラス)の共同購入に続く第2弾として、中型トラクター(開発要求28〜35馬力クラス)の型式を決めました。共同購入の取り組みによつて、生産者の購入価格は標準的な同クラスのトラクターと比較し、おおむね2割程度の価格引き下げ(※1)を実現しました。令和2年12月から出荷を開始し、3年間で2000台の取り扱いを計画しています。

この取り組みでは、中型トラクターの仕様について1万人を超える生産者にアンケートを実施した他、生産者3団体(日本農業法人協会・全国農協青年組織協議会・全国農業青年クラブ連絡協議会)と全農による資材事業研究会で徹底した議論を行い、生産者の営農規模と栽培品目拡大を支援するために必要な仕様を決定しました。これに基づき、令和元年6月に国内農機メーカー4社に開発要求を行いました。

その後、生産者3団体の代表者とともに各メーカーの実機や試験データを確認し、共同購入トラクターをSL33L(製造元…株式会社クボタ)に決めました。ほぼ1日無給油での作業を可能(※2)とする燃料タンクを備えていることや、ノークラッチ変速により、露地だけではなくハウス内でも余裕のある作業を行いたいという生産現場の要望に応える仕様になっています。

第1弾の大型トラクターの取り組みと同様、生産者の需要を取りまとめ一括発注を行うことで、メーカーの製造・流通が効率化でき製造コストを削減できること、JAグループが全国の生産者に結集を呼びかけ、積み上げた必要台数を背景に入札を実施することによつて、生産者の購入価格の引き下げを実現しました。こうした取り組みを通じて、全農は引き続き生産者の営農を支援していきます。

※1…価格引き下げ率は地域により異なります。
※2…製造メーカーによるロータリー作業圃場測定によります。

主要諸元表

型式(安全フレーム・標準速・ホイル仕様) 製造元		SL33LFMAEP クボタ
機体	駆動方式	パートタイム4WD
	全長×全幅×全高(mm)	3,190×1,445×1,980
	地上最低高(mm)	330
	機体重量(kg)	1,436
エンジン	出力(SP)・総排気量(L)	33/2600(ネット)・1,826
	燃料タンク容量(L)	48
走行	変速方式	ノークラッチ変速
	変速段数	前進24段、後進16段
	最小旋回半径(m)	2.2
PTO	回転速度(rpm)	正転549,775,960,1280/2600 逆転960/2600
作業機 昇降装置	装着方式	3点リンク JIS1形
	油圧揚力(kgf)	1,475

共同購入の概要

機種	トラクター(33馬力)
型式	SL33LFMAEP
メーカー 希望小売価格	285万円(税抜き) ※上記価格は安全フレーム仕様・標準速・ホイル仕様 の単体価格、オプション設定品は除く
主な機能・装備	ノークラッチ変速、自動水平制御、自動耕深制御、 倍速ターン、オートブレーキ、バックアップ、 標準3点リンクのオートヒッチが装着可能、 ロータリー作業を無給油でおおむね8時間継続できる 燃料タンク(48ℓ)
オプション	キャビン、ハイスピード、半クローラ

『全農リポート2020』を発行

事業内容や取り組みについて幅広く解説

全農は10月1日、令和2年度事業戦略や最新の事業内容について紹介する冊子「全農リポート2020」を発行しました。

【広報調査部】

全農は、事業内容などについて幅広く組織の内外へ伝えるため、毎年「全農リポート」を発行し、本会職員やグループ会社をはじめ、取引先や関係機関、メディア、有識者らに配布しています。

事業戦略に沿った取り組みの紹介

また、シンポジウムや研修会などでも配布・説明し、本会事業の理解醸成につなげています。

「全農リポート2020」では、協同組合である全農の役割、食と農を取り巻く環境、最

説明、他企業とのアライアンスについても紹介しました。

各事業部門の紹介に職員インタビューを追加

事業部門の紹介ページでは、昨年より各事業を細分化し、本会事業をより詳しく伝えられる構成としました。

また、「全農の役割」「全農の取り組み」に加え、職員インタビューで職員の「生の声」を掲載することで、本会事業をイメージしやすい形にしました。

全農ホームページとの連動

ページの随所にQRコードを掲載しHPへ誘導。興味を持った内容をより深く知ってもらえるよう配慮しました。

また、「全農リポート2020」は全農ホームページで公開しています。電子冊子でご覧いただけるほか、PDFでのダウンロードも可能です。

全農の事業や日本農業について理解を深めていただくために、「全農リポート2020」をぜひご活用ください。



【全農リポート2020の内容】

ページ	
4	トップメッセージ
6	JA全農とは
10	海外ネットワーク
12	全国のお店
14	みのりみのるプロジェクト・JAタウン
16	数字で見る全農・グループ会社
18	食と農を取り巻く環境
22	20年後はどんな世の中になっている？
24	令和2年度事業戦略
26	生産基盤の確立
30	食のトップブランドとしての地位の確立
34	海外戦略の構築
36	元気な地域社会づくりへの支援
37	JAへの支援強化
38	SDGsに貢献する取り組み
39	アライアンス～企業との連携～
41	事業部門
58	全農の研究開発部門
60	都府県本部紹介
67	全農東北プロジェクト
68	広報・社会貢献活動
74	資料編(組織体制、財務情報等)

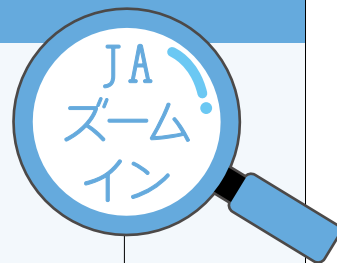


令和2年度事業戦略の説明

「事業紹介」ページ



QRコードを掲載しHPや動画に誘導



徹底した栽培管理で

「飛馬ブランド」確立

JA相馬村 (青森県)



概要 令和2年6月30日現在	
正組合員数	498人
准組合員数	368人
職員数	39人
販売品取扱高	40億3千万円
購買品取扱高	13億6千万円
貯金残高	93億9千万円
長期共済保有高	330億円
主な農産物	リンゴ

青森県弘前市にあるJA相馬村は、組合員の8割強がリンゴ生産者で、全国でも類を見ないリンゴに特化したJAです。農地は平地から山間部まで広がり、岩木山や白神山地からの恩恵を受けて栽培しています。

JAと生産者が 生んだ「飛馬ふじ」

1人の生産者が、強風の

影響で「サンふじ」の収穫が大幅にずれ込み、11月末に収穫したところ「とてもおいしく、糖度が17度もあった」という出来事がありました。それがヒントとなり、葉摘みの作業時期に注目し、時期を限定することでぎりぎりまで果実に養分を与える栽培法を目指すことを考えました。品種は消費者に認知度が一番高い「サンふじ」に的を絞り、「見た目も味も

現場での検討会も開催



「飛馬ふじ」生みの親・田澤さんが会員に向けて剪定(せんてい)技術を伝える

良い究極のサンふじを目指すことになりました。これが「飛馬ふじ」の始まりです。平成18年から3年間試験が行われ、土壌診断による施肥や6月末までの摘果など、糖度14度以上を目指した栽培基準を作りました。当初、「主要な作業期間が制限される」などの理由から生産者17人のスタートとなりました。絶対に成功させる思いで、JA担当者による個別巡回や土壌診断経費の全額補助など、産地の維持に全力で努めました。販売面では、ディスカウント流行のさなか、「高くてもいいものは売れる」と流行の逆を進むことになりましたが、試食の効果から「想像を超える味の濃さ」で消費者の反

多くの消費者に味わっていただきたい「飛馬ふじ」。徹底した栽培管理で出来る



応を一変させることができました。

「飛馬ブランド」の確立で 会員数、入庫数量とも大幅増

販売価格は平成22年から常に1箱(約18kg)平均5000円以上をキープし、通常栽培の「サンふじ」と比べ1000〜2000円の差で、明確な差別化を図っています。固定価格で

今後は適期作業をもう一度原点に戻り見直し、「どれを食べても味にバラツキのないリンゴを提供する」という最大の目標に近づきたいと考えています。「攻めの姿勢」で生産から流通・販売まで結び付けた取り組みを展開していきます。

の取引で相場に左右されないことが強みとなり、手間を掛けた分精算にしっかりと反映されることが会員への大きなメリツトとなっています。会員数と入庫数量は年々増加し、平成28年には会員数が当初の3・5倍の60人、入庫数量が8・4倍の350tにまで増加しました。



米消費拡大 子ども向けレシピブックをホームページで公開 ABC クッキングスタジオと連携

米穀生産集荷対策部は、子どもを対象としたレシピブック「しんまいにんじゃ こつぶのおこめしゅぎょう」を「NO RICE NO LIFEプロジェクト」のホームページ上で公開しました。

【米穀生産集荷対策部】

このレシピブックは、米消費拡大の一環として料理教室「ABC クッキングスタジオ」と共同で制作したもので、基本的なご飯の炊き方や、子どもが家庭で作れる料理のレシピを、新米忍者「こつぶ」を主人公としたストーリー仕立てで紹介しています。

新米のおいしい季節です。ご家庭でお子さまとお米料理を楽しむ機会や、幼稚園・保育園などの食育の機会に、ぜひご活用ください。

全農では今後も、お米の消費拡大につながる企画を実施します。



レシピブックは
こちら



お子さまと楽
しめるお米料
理のレシピを
紹介



新米忍者「こつぶ」と相棒のネコ「シロ」と一緒にお米を楽しもう

「冬恋食べてけろ」JAタウンで予約注文受付中 公式Instagramで産地情報発信

岩手県本部が運営するJAタウンショップ「いわて純情セレクト」と「いわて純情館」では、りんご「いわて純情冬恋はるか」「いわて純情プレミアム冬恋はるか」の予約注文を数量限定で受け付けています。

【岩手県本部】

「冬恋」は、強い甘みと豊富な蜜が特長の県オリジナルりんご「はるか」を、蜜入り・糖度・外観で差別化したギフト商品です。出荷期間が1か月間ほどしかなく、年々注目度が上がっていることもあり、各方面からの需要が高まっています。岩手冬恋研究会(事務局:JA全農いわて)のメンバーが卓越した栽培技術

を駆使し育て上げた究極のりんごをご賞味ください。

また、同研究会では新型コロナ禍でもさまざまな情報を発信するため、公式Instagramを6月に開設。「冬恋」を収穫するまでの生育情報や栽培する生産者の姿、研究会の活動報告などを投稿しています。



「冬恋」生産者の宇津宮さん



JAタウンで販売している「冬恋」

岩手冬恋研究会の
公式Instagramはこちら



IWATE.FUYUKOI.HARUKA



JA全農のインターネットショッピングモール
JAタウン ショップ紹介

紀の里「旬」たより (和歌山県JA紀の里)

果樹王国として知られる和歌山県は、柿の生産量も日本一を誇ります。

たねなし柿は、その名の通り種が無く、果肉が柔らかで果汁も豊富です。渋柿の一種ですが、渋を抜いてお届けしますので、とろける甘さをお楽しみいただけます。

そのたねなし柿の中から、さらに「色合い」と「糖度」の基準をクリアした物だけを、光センサーで厳選したのが「高糖度たねなし柿」です。

日々のお荷量も限られているため、なかなかお目にかかることができない逸品です。ぜひご賞味ください。



高糖度 たねなし柿 約3.6kg(2L:14玉入)
..... 3800円

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは shop@ja-town1.com



『JA全農ウィークリー』の
ツイッターはこちら

